

### 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり つなぐ～いのち、学び、地域～

#### 豊かな心を育む

- 「いのちの教育」の計画的・継続的な実践
- 教科化を踏まえた道徳教育の推進

#### 子供と向き合う

- 学校経営の選択と集中
- 育てたい資質・能力の共有と評価サイクルの構築

#### 教職員の力を高める

- 少人数のよさを生かした教育実践
- 「担任力」と同僚性を育む校内研修の充実

#### 子供の育ちと学びをつなぐ

- 幼保小及び小中連携
- 家庭・地域との連携・協働推進

### 魅力にあふれ、安心・元気な学校をつくる

## 授業を中核に、生きめく力を育む

### 考える力を育む授業づくり

#### 1 子供の学びをつなぐ「探究型学習」の推進

- 必要感のある学びや深い思考に導くことができる課題の設定
- 精一杯考え合い、表現し合いながら協働的に問題解決する過程の充実
- 学ぶことのよさを実感できるまとめと振り返りの明確な位置付け

#### 2 授業改善につなぐ子供理解の重視

- 確かな教材分析と子供の実態に基づいた授業計画
- 子供の姿で具体化した、一貫性のある目標・指導・評価と支援

#### 3 日常授業の実践につなぐ校内研究の充実

- 学校課題の解決に向けた次の一手の共有
- 研究の日常化を図る校内OJTの推進

### 自尊感情を育む集団づくり

#### 1 自己指導能力を育む生徒指導の推進

- 生徒指導の機能を生かした授業の実践
- 主体性を育む児童会・生徒会活動の工夫
- 地域とともに作る体験活動の充実

#### 2 いじめの根絶に向けた取組

- 機能する「学校いじめ防止基本方針」にするための評価と改善
- 児童生徒にとっての魅力ある学級づくりの推進(絆づくり、居場所づくり)
- 部活動(クラブ活動等)におけるいじめの未然防止、早期発見、適切な対応の推進

#### 3 特別活動の充実

- 各活動・学校行事で、付けたい力を明確にした指導計画の作成と見直し
- 望ましい人間関係、自主的、実践的な態度の育成を目指した教育活動の充実

## 健康でたくましい体づくり

#### 1 健やかな体を育む学校体育の充実

- 運動の楽しさや喜びを実感できる授業の推進
- 学校と家庭・地域が連携した体力づくりの工夫

#### 2 発達段階を考慮した健康・安全教育の推進

- 心身の健康を保持増進するための実践力につなぐ取組の充実
- 危険を予測し、主体的に回避できる能力を育む活動の工夫改善
- 学校と家庭・地域が連携した望ましい生活習慣の形成(生活リズム・食習慣)

#### 特別支援教育

### 二つの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

#### 1 校内支援体制の充実

- 教育的ニーズの的確な把握と校内体制の機能強化
- 学校間及び家庭や関係機関との情報の引継と連携

#### 2 子供の特性に応じた指導・支援の充実

- 個別の教育支援計画を活用した継続的な支援
- 個別の指導計画に基づいた適切な教育課程の編成

#### 3 通常学級での指導の充実

- ユニバーサルデザインの考えを生かした学級づくり、授業づくり
- インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習

#### 幼稚園教育

### 「生きる力」の基礎を培う環境構成の工夫

#### 1 信頼される幼稚園経営の推進

- 各園の特色を大切に教育課程の創造
- 信頼される教師の育成

#### 2 自主性と思いやりを育む指導の充実

- 遊びを通して、自主性と思いやりを育む教育の充実
- 子供の成長を促す教師の見取り

#### 3 育ちと学びをつなぐ小学校、家庭・地域との連携

- 幼児期の教育と小学校以降の教育との相互理解促進
- 幼保小連携スタートプログラムの活用

## 平成29年度「『考える力』を育む教科指導改善研究会」実施要項

置賜教育事務所

### 1 ねらい

管内の若手・中堅教員（教科研究員）と置賜教育事務所指導主事が協働しながら「考える力」を育む教科指導改善に向けた探究型学習の授業づくりを通して、教科研究員の実践的指導力の向上を図るとともに、その成果の提案を通して、各校における授業改善や校内研究の活性化に資する。

### 2 方針

- (1) 教科研究員と置賜教育事務所指導主事が、教科毎に教科研究プロジェクトチームを組織し、探究型学習の視点での授業づくりを通して教科指導改善に向けた研究を進める。
- (2) 「平成29年度学校教育指導の重点」及び「おきたまの教育」の視点を踏まえながら、授業を通して教科指導改善策を提案する。
- (3) アドバイザー（学識経験者）を招聘し、専門的知見からの指導助言をいただく。
- (4) 研究の成果を「情報おきたま」「各種研修会」等で発信・普及する。

### 3 研究計画及び日程

回	期 日	会 場	内 容
①	5月23日(火) ※小学校社会部会は 6月9日(金)	置賜総合支庁 西置賜地域振興局	<u>第1回全体研究会</u> ○研究のねらい・年間予定の説明、研究計画の立案 ○管内の実態の分析と、教科指導改善の視点の確認
② ③	6月～10月	置賜総合支庁 西置賜地域振興局	<u>第1, 2回教科研究会</u> ○教科指導改善の視点に基づいた学習指導案等の検討
④	9月～11月	教科研究員所属校 (学習指導研修会 会場校)	<u>第3回教科研究会(兼 学習指導研修会)</u> ○学習指導研修会で教科指導改善の視点に基づいた授業の提案と、参会者との意見交換 ○講師による指導助言
⑤	1月24日(水)	置賜総合支庁 西置賜地域振興局	<u>第2回全体研究会</u> ○実践発表・交流、教科指導改善策等の整理

### 4 実施にあたって

- (1) 各教科（小学校算数、小学校社会、中学校国語、中学校数学）3名の教科研究員を委嘱する。委嘱にあたっては、市町教育委員会と協議をしながら進めていく。
- (2) 学習指導研修会では、教科研究プロジェクトチームで検討した学習指導案に基づいた授業の提案を行う。また、事後研究会の持ち方等についても提案する。
- (3) 本研究に係る教科研究員の旅費は別枠とする。
- (4) 研究を進めるにあたり、以下の資料を活用する。
  - ・『山形県学力等調査問題』（山形県教育委員会）
  - ・『算数・数学スパイス問題シート』（山形県教育委員会）
  - ・『全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例』（国立教育政策研究所 平成21～29年）
  - ・『言語活動の充実に関する指導事例集』（文部科学省 平成23年10月）
  - ・『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（国立教育政策研究所 平成23年11月）

## 平成29年度「『考える力』を育む教科指導改善研究会」名簿

※ 敬称略

### ■小学校算数科チーム

氏名	所属・職名	備考
市川 啓	山形大学 准教授	アドバイザー
寒河江 正人	米沢市立北部小学校 教諭	
大地 凌	高畠町立高畠小学校 教諭	
江口 和輝	白鷹町立蚕桑小学校 教諭	

### ■小学校社会科チーム

氏名	所属・職名	備考
江間 史明	山形大学 教授	アドバイザー
徳重 馨	米沢市立西部小学校 教諭	
守岡 太郎	高畠町立糠野目小学校 教諭	
曾根原 隼	飯豊町立第二小学校 教諭	

### ■中学校国語科チーム

氏名	所属・職名	備考
菊地 とく	日本国語教育学会山形県支部 会長	アドバイザー
須藤 優	米沢市立南原中学校 教諭	
奥山 優美	南陽市立赤湯中学校 教諭	
吉川 和宏	高畠町立高畠中学校 教諭	

### ■中学校数学科チーム

氏名	所属・職名	備考
市川 啓	山形大学 准教授	アドバイザー
渡部 容平	米沢市立第四中学校 教諭	
横澤 俊彦	長井市立長井北中学校 教諭	
小林 邦弘	飯豊町立飯豊中学校 教諭	

### ■置賜教育事務所

氏名	職名	担当 (◎：教科の主担当)
竹田 啓	副所長兼指導課長	
船山 恒	主任指導主事	中学校数学
落合 篤	指導主事	本研究会主担当、小学校算数
渡部美千恵	指導主事	中学校国語 (◎)
後藤 潤一	指導主事	小学校算数 (◎)
丸川 利英	指導主事	中学校国語
土田 知良	指導主事	小学校社会 (◎)
地主 忠亮	指導主事	中学校数学 (◎)
平賀 正和	指導主事	小学校社会

# 平成29年度「学習指導研修会」実施要項

置賜教育事務所

## 1 ねらい

置賜管内から選出された教科研究員による研究授業の参観を通して、学習指導要領の趣旨に基づく『「考える力」を育む授業づくり』及び『日常授業の改善・充実につながる事後研究会の在り方』について研修する。

## 2 教科及び研究テーマ

教科	研究テーマ
小学校社会科	子供の思考をアクティブにする単元構成の工夫
小学校算数科	算数を好きになる子供を育てる、 「考えることが楽しい」と思える授業づくり
中学校国語科	生徒自身が、言葉の力の高まりを実感できる授業
中学校数学科	「わかる」「できる」を実感できる授業の創造 ～生徒の新たな気づきを生み出す授業づくり～

## 3 期日及び会場、授業者等

期日・会場	教科及び単元名等	授業者	助言者
10月16日(月) 米沢市立西部小学校	小学校社会科 第5学年 私たちの生活と工業生産 「自動車をつくる工業」	徳重 馨 教諭	山形大学 江間 史明 教授
10月27日(金) 高畠町立高畠中学校	中学校国語科 第2学年 「根拠を明確にして説得力 のある意見文を書こう」	吉川 和宏 教諭	日本国語教育学会山形県支部 菊地 とく 会長
11月14日(火) 白鷹町立蚕桑小学校	小学校算数科 第5学年 「平均とその利用」	江口 和輝 教諭	山形大学 大澤 弘典 教授
11月21日(火) 長井市立長井北中学校	中学校数学科 第3学年 「円の性質」	横澤 俊彦 教諭	宮城教育大学 市川 啓 准教授

## 4 参加について

- (1) 各小・中学校から1名以上、参加願います。(上記4つの会場より何校でも選択可能です。)
- (2) 小学校教育マイスター及び中学校教育マイスターは、必ず参加願います。(退職教員マイスターは参加の必要はありません)

## 5 研修内容

- (1) 置賜教育事務所及び教科研究プロジェクトチーム(※) による提案及び協議
  - ① 教科指導改善策の説明
  - ② 研究授業の参観
  - ③ 研究協議
  - ④ アドバイザーからの指導・助言
- (2) 研究協議では、教科研究プロジェクトチームによる提案に基づき、各校の校内研究推進状況等について、積極的に交流願います。

**6 日程** ※会場によって、開始時刻等が違いますので、留意願います。

(1) 米沢市立西部小学校【授業；社会】会場

13:00	13:20	13:45	14:30	16:30	16:40
受付	開会行事	授業参観 (45分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

(2) 高畠町立高畠中学校【授業；国語】会場

13:00	13:20	13:45	14:35	16:35	16:45
受付	開会行事	授業参観 (50分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

(3) 白鷹町立蚕桑小学校【授業；算数】会場

13:00	13:20	13:50	14:35	16:35	16:45
受付	開会行事	授業参観 (45分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

(4) 長井市立長井北中学校【授業；数学】会場

12:50	13:10	13:35	14:25	16:25	16:35
受付	開会行事	授業参観 (50分)	研究協議 (指導・助言)	閉会行事	

**7 参加申込**

- (1) 学校は、参加者等について別紙様式に記入のうえ、平成29年9月28日(木)まで当該市町教育委員会あて報告願います。(メール・ファックス可)
- (2) 市町教育委員会は、別紙様式をそのまま、平成29年10月5日(木)まで置賜教育事務所指導課長あて提出願います。(メール・ファックス可)

**8 その他**

- (1) 参加者の旅費は、学校旅費で対応願います。
- (2) 参加者が教育マイスターの場合、旅費は別枠となります。

(※) 「教科研究プロジェクトチーム」とは、

大学教授等をアドバイザーにお迎えし、置賜管内教員(教科研究員)と置賜教育事務所指導主事が協働しながら、学習指導要領の趣旨に基づく『「考える力」を育む授業づくり』について研究を進めているグループです。

	小学校社会科	小学校算数科	中学校国語科	中学校数学科
アドバイザー	山形大学 江間 史明 教諭	山形大学 大澤 弘典 教諭	日本国語教育学会山形県支部 菊地 とく 会長	宮城教育大学 市川 啓 准教諭
教科研究員	米沢市立西部小学校 徳重 馨 教諭	白鷹町立蚕桑小学校 江口 和輝 教諭	高畠町立高畠中学校 吉川 和宏 教諭	長井市立長井北中学校 横澤 俊彦 教諭
	飯豊町立第二小学校 曾根原 隼 教諭	高畠町立高畠小学校 大地 凌 教諭	米沢市立南原中学校 須藤 優 教諭	飯豊町立飯豊中学校 小林 邦弘 教諭
	高畠町立糠野目小学校 守岡 太郎 教諭	米沢市立北部小学校 寒河江 正人 教諭	南陽市立赤湯中学校 奥山 優美 教諭	米沢市立第四中学校 渡部 容平 教諭

## 「考える力」を育むために

学習指導研修会の  
授業提案から

置賜教育事務所では、今年度も「『考える力』を育む教科指導改善研究会」による教科指導の研究を進めて参りました。その提案の場として、小学校社会、小学校算数、中学校国語、中学校数学の計4回の「学習指導研修会」を実施しました。

研修会に参加された先生方の声をもとに、提案授業の成果をお知らせします。



### 小学校社会（10月16日）5学年 自動車をつくる工業 米沢市立西部小学校 授業者 徳重 馨 教諭

【本時の目標】・日本の自動車づくりのよさを予想し、そこから学習問題を考えることにつなげている。  
・資料を読み取り、日本の自動車工業の様子についてとらえることができる。

#### 《参加された先生方の声》

○単元全体を通して「課題を見つけ見通しを持たせて解決していく」ことを意識した指導の大切さを学んだ。一単位時間を途切れさせることなくつなげていくことを大事にしていきたい。

○導入部分で学習問題をどのように作っていくのか参考になった。自分事としてどうとらえさせるのか、資料提示の大切さも学んだ。



○子どもの学習意欲を喚起するために、グラフやCMなどの資料の提示は有効だと感じた。自分も参観していてワクワクした。

○思考ツール(クラゲチャート)の使用は有効だった。他者の考えとの共通点、相違点にも気づくことができ、考えが焦点化、視覚化できていた。

○単元全体の学習問題のつくり方について、子どもの意見を吸い上げてつくっていく方法について勉強したいと思った。



### 中学校国語（10月27日）2学年 根拠を明確にして説得力のある意見文を書こう 高畠町立高畠中学校 授業者 吉川 和宏 教諭

【本時の目標】より説得力が生まれ、相手を納得させるような意見文にするために、相手の文に対して意見を述べたり、互いの文を読み返したりすることで説得力を高める工夫を理解することができる。

#### 《参加された先生方の声》

○意見を伝える対象（校長先生）と目的（体育祭の「組分け」についての改革）が明確で、「自分達の意見で変わるかもしれない」という思いが、書く意欲につながっていた。生徒の課題意識を教師が把握しているからこそその姿である。

○説得力のある文章を書くために、付けるべき力を絞り込みその力をどのような手立てにより付けていくのかという、単元構成の仕方を学ぶことができた。

○生徒が何度も何度も友達の文章を読み直す姿が印象的だった。読み返すための観点をしっかり持っていたためだと思った。

○話し合う視点が提示されたことで、何をすればよいか分かり、スムーズに活動が行われていた。見通しの持てる授業の流れの提示が生徒にとって活動のしやすさにつながっていた。

○生徒同士が「根拠の明確さ」についての確かな助言や指摘ができるような視点の焦点化、明確化が必要である。





**小学校算数**（11月14日）5学年 平均とその利用  
白鷹町立蚕桑小学校 授業者 江口 和輝 教諭

【本時の目標】 合計（平均×個数）からわかっている数を引く考え方を使って、隠れた部分の数を求めることができる。

《参加された先生方の声》

- 体験に基づいた身近な題材（朝マラソンの周数）で、イメージしやすく、学習するよさを実感できるものであった。
- 逆思考を使った問題の難易度がちょうどよく、子どもが意欲的に問題に取り組んでいた。
- 発展的な問題を意欲的に考える子ども達の姿を見て、子どもに必要な力を教師が考え、問題を開発していくことが大事だと改めて感じた。挑戦することで課題も見えてくると思った。
- 友達の考えを別の子どもが説明する活動により学びが深まっていた。自分の考えがよりはっきりし自信につながったり、ホワイトボードを通して共感したりするよさも見られた。
- 子ども同士の言葉を「つなぐ」ことや、子ども同士もっと自由に話す時間を大切にしたい。また、子どもから大事な言葉が出された時は拾ったり問い返したりすることも必要である。



**中学校数学**（11月21日）3学年 円の性質  
長井市立長井北中学校 授業者 横澤 俊彦 教諭



【本時の目標】 作図などの操作活動により、円周角の定理を予想し、定理が成り立つ理由を、半径と重なる場合について、根拠を示しながら印をつけて説明することができる。

《参加された先生方の声》

- 生徒が一生懸命考え伝えようとする姿がたくさん見られ、日々の学習の積み重ねが感じられた。発表後の拍手や友達の説明を熱心に聞く様子も学校全体の取組があつてのことだと思った。
- 交流を通して「何を考えるのか」「考えがこれでよいのか」について確認することができていた。さらに、考えを引き出したり深めたりすることにも有効だった。
- 分かっている生徒をうまく生かしていた。ヒントを言わせたり、ポイントのみを言わせたりし、その子に全部を言わせない工夫があつた。
- 最後の「振り返り」は、1時間の中での自分の変容や次時への意欲について改めて認識することができる場となっており大変よいと思った。
- 生徒の疑問や悩みを生かすのであれば、悩む時間を保障し、疑問や悩みを交流する場面を設けなければならないと思った。



4つの貴重な提案授業をもとに、参加者の先生方による活発な研究協議が行われました。その後、アドバイザーの先生方に授業に対するご助言もいただき、学びの多い大変充実した研修会となりました。

ご参加いただいた先生方、教科研究員の先生方、また会場を提供して下さった会場校の先生方に感謝申し上げます。



教科研究チーム  
が提案する

## 授業づくりで大切にしたいポイント

置賜教育事務所では教科研究プロジェクトチーム（今年度は4教科）を組織し、1年間「『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。2月に実施されました本研究会（最終回）では、各教科研究員の今年度の実践についての交流が行われ、1年間の研究成果についてチームで共有を図りました。

また、1年間の研究を基に、各教科チームごと3点の「授業づくりのポイント」と、「キャッチフレーズ」について協議し、以下のようにまとめました。それぞれの教科の授業で大切にしたいポイントが詰まっておりますので、今後の授業づくりの参考にいただければと思います。

### 小学校 社会

教科研究員 徳重 馨（米沢市立西部小学校）  
守岡 太郎（高畠町立糠野目小学校）  
曾根原 隼（飯豊町立第二小学校）

#### 子供と社会をつなぐ単元を通した課題を設定し、児童自らが各時間の学びを関連付けながらアクティブに思考する授業に！

- 導入時の効果的な資料提示により、子供の気付きや疑問を生かした課題づくりをする。
- 社会的事象に対する見方・考え方を育むことで、子供たちが見通しを持って、主体的・協働的に課題解決できるようにする。
- 自分と社会的事象とのつながりを実感し、新たな課題や学習意欲につなげていくことができる振り返りの場を設定する。



### 小学校 算数

教科研究員 寒河江正人（米沢市立北部小学校）  
大地 凌（高畠町立高畠小学校）  
江口 和輝（白鷹町立蚕桑小学校）

#### 思わず考えたくなる問題や場面を計画し、子供が「考えることが楽しい」と思える授業に！

- 子供が考えたくなるような魅力的な題材や問題を単元の中に位置付け、考える楽しさに触れたり解いた達成感を味わったりする機会を大切にする。
- 困り感やつぶやき等、素の子供の思いや言葉を引き出すこと、子供が表現した言葉そのものを授業や板書、めあてやまとめに生かすことを大切に、子供の思考で授業を組み立てる。
- 1問の解決のみで終わらず、見方を広げたり新たな見方に触れたりする場面や問題まで計画し、子供自らが考えを広げようとする姿を大切にする。





# 中学校 国語

教科研究員 須藤 優（米沢市立南原中学校）  
奥山 優美（南陽市立赤湯中学校）  
吉川 和宏（高畠町立高畠中学校）

## 実生活とつながりのある課題を設定し付けたい力を絞ることで、生徒自身が身に付けた言葉の力を自覚できる授業に！

- 他教科や実生活とのつながりを考えた課題を設定することで、目的意識や相手意識を持たせ、生徒の主体性を引き出す。
- 付けたい力に迫る教師の働きかけや視点を明確にした相互評価を取り入れ、生徒が学んだことを一層自覚できるようにする。
- 付けたい力を教師と生徒が共有することで、その力がついたかどうか考えながら学び、言葉の力の高まりを実感できるようにする。

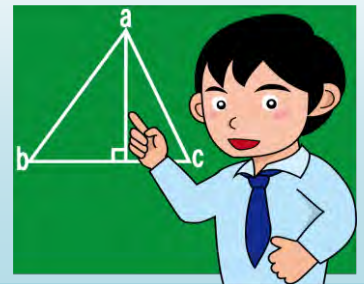


# 中学校 数学

教科研究員 渡部 容平（米沢市立第四中学校）  
横澤 俊彦（長井市立長井北中学校）  
小林 邦弘（飯豊町立飯豊中学校）

## 生徒の新たな気づきを生み出す授業に！

- 視覚的な捉えや操作を生かして、課題と出会わせる。
- 意欲的な学びを生むために、生徒の言葉や発想、既習事項とのつなげ方を大切に、解決の見通しを持たせる。
- 「わかる」「できる」を実感させるため、チェックテストや振り返りを行い、学びの足あとを残す。



今年度の取組の成果を「実践記録集」としてまとめ、置賜教育事務所HP

【<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/706003/>】にアップします。

教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載しますので、ぜひご覧ください！

学校教育指導の重点リーフレット「おきたまの教育（平成30年度版）」発行に向けて、現在準備を進めております。

リニューアルされた「おきたまの教育」は、4月2日（月）に各学校にお届けする予定です。先生方一人に1枚ずつお配りしますので、校内研究の推進、授業づくり、集団づくり、体づくり等にご活用下さい。

### おきたまの教育 平成30年度置賜教育事務所 学校教育指導の重点

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり つなぐ、いのち、学び、地域へ

<p><b>豊かな心を育む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめの防止</li> <li>○計画的な実践</li> <li>○道徳の授業を主とした道徳教育の充実</li> </ul>	<p><b>カリキュラム・マネジメントを推進する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○育てたい資質・能力の共有</li> <li>○学校間の選択と集中</li> <li>○教育内容の質の向上を目指した詳細サイトの構築</li> </ul>	<p><b>教員力の力を高める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数のよさを生かした集団授業</li> <li>○担任力と授業力をもつ校内研修の充実</li> </ul>	<p><b>子供の育ちと学びをつなぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域及び小中連携の充実</li> <li>○家庭・地域との連携・協働の推進</li> </ul>
<p><b>授業を中核に、生きぬく力を育む</b></p>			
<p><b>考える力を育む授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供に力をつける個別学習の充実</li> <li>○主体性を引き出し、深い思考に導くことができる課題の設定</li> <li>○自己中絶と対話を通して、考えを広げ深める、協働的な学びの実践</li> <li>○思考の過程や自分の成長、学ぶことへのよさを表出できる振り返りの授業の実践</li> </ul>	<p><b>育てたい資質・能力を踏襲した単元・授業計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を再構築し、子供の学びを具体化した、一貫性のある目標・指導・評価と支援</li> <li>○子供の多様な考えを生かす教材研究と、思考を深め、確かなものにするための教師的コーディネーター</li> </ul>	<p><b>自尊重感を育む集団づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己指導能力を育む授業計画の推進</li> <li>○生徒間の信頼を基にした主体的実践</li> <li>○主体性を育む授業計画・生徒生活活動の工夫</li> <li>○地域とともにつなぐ体験活動の充実</li> </ul>	<p><b>いじめの防止に向けた取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育者による「いじめ防止基本方針」に対するための評価と改善</li> <li>○児童生徒にとっての働きあふれ学習づくりの推進（壁かけ、壁紙づくり）</li> <li>○部活動（クラブ活動等）におけるいじめの未然防止、早期発見、適切な対応の推進</li> </ul>
<p><b>研究力向上とは...</b></p> <p>「自ら課題を設定し、主体的な探究・発想と思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、主体的・協働的に解決に取り組む学習」</p>	<p><b>健康でたくましく体づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな心と体を育む学校体育の充実</li> <li>○運動の楽しさや喜びを実感できる授業の推進</li> <li>○学校・家庭・地域連携した体づくりの実践</li> </ul>	<p><b>特別支援教育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人の教育的ニーズに応じた個別支援教育の推進</li> <li>○校内支援体制の充実</li> <li>○個別ニーズの把握や発達の観察・評価</li> <li>○学校関係職員及び保護者や関係機関との情報共有と連携</li> <li>○子供の特性に応じた指導・支援の充実</li> <li>○個別の教育支援計画を活用した継続的な支援と個別の指導計画に基づいた適切な指導・評価の実践</li> <li>○道長学習における適切な指導と支援</li> </ul>	<p><b>幼少連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自覚と思いやりを育む幼少連携の推進</li> <li>○各県の特色を大学にいた教育課程の観点</li> <li>○異なる年齢・発達段階への対応</li> </ul>
<p><b>共生社会の形成に向けた基礎づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び共同学習</li> <li>○障がいのある子供一人一人に適切な「合理的配慮」の提供</li> </ul>	<p><b>幼少連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自覚と思いやりを育む幼少連携の推進</li> <li>○各県の特色を大学にいた教育課程の観点</li> <li>○異なる年齢・発達段階への対応</li> </ul>	<p><b>育ちと学びをつなぐ小学校、家庭、地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域間の教育と小学校以降の教育の円滑な連携</li> <li>○幼児小連携スタートプログラムの活用</li> </ul>	<p><b>育ちと学びをつなぐ小学校、家庭、地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域間の教育と小学校以降の教育の円滑な連携</li> <li>○幼児小連携スタートプログラムの活用</li> </ul>